

令和7年度 未来を拓く生徒主体の授業づくりプロジェクト計画書(報告書)

学校番号	26	学校名	甲府商業高等学校	全・定・通	全	在籍生徒数	724	名
スクールポリシー (学力に関するもの)	民主的で平和な国家社会の形成者として、心身ともに健全な個人の人格形成を目指し、かつ知・徳・体の兼ね備わった近代的経済人の育成を図る。							
グラデュエーション ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> 個々の能力や個性の伸長を図り、主体的に社会を生き抜く力を育む。 学びと社会を結び付け、生きて働く力を育む。 地域経済社会の中で指導力を発揮し、持続可能な社会の発展に貢献するビジネスリーダーを育てる。 「あたりまえの(A)」のことを、「ばか(B)」にせず、「ちゃんと(C)」する生徒の育成を目指す。 							

生徒主体の授業への転換のための取組テーマ	
<input type="checkbox"/> 自ら自己調整をしながら学習を進めていくことができる自立した学習者づくり	
<input type="checkbox"/> 目標の実現に向けて生徒が自己選択や自己決定を行う機会の創出	
<input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの視点による授業と評価の改善	
<input type="checkbox"/> ICTの利活用による「個別最適化学び」と「協働的な学び」の一体的な充実	
<input type="checkbox"/> 文理の枠を越えた教科横断的・総合的な探究課題への取組	

具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> 相互授業参観の実施 <ul style="list-style-type: none"> 生徒主体の授業を行い、教員相互で参観し、授業の改善に活かす。 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の研究 <ul style="list-style-type: none"> 評価の仕方について不断の検討と研修を行う。 	

「生徒主体の授業への転換のためのアンケート」高評価数値の推移(%)	R7中間	R7末
(各校の授業アンケートに基づく)		
授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強くそう思う, ②そう思う	82.0%	84.0%
話し合い, 討論, 発表などの言語活動に取り組むことができた ①強くそう思う, ②そう思う	91.0%	92.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強くそう思う, ②そう思う	95.0%	96.0%
ノート等で授業の記録をすることができた ①強くそう思う, ②そう思う	94.0%	95.0%
活用・探究など, 学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強くそう思う, ②そう思う	88.0%	90.0%
授業や単元の終わりに, 目標を達成しているかを評価することができた ①強くそう思う, ②そう思う	89.0%	89.0%
家庭学習(宿題や課題)と授業を, 有機的に結び付けることができた ①強くそう思う, ②そう思う	87.0%	87.0%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強くそう思う, ②そう思う	79.0%	87.0%

総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の取組を含む)	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒によるアンケート(年度末)のうち、「授業の始めに授業の目標を確認することができた」の高評価が84%、「話し合い, 討論, 発表などの言語活動に取り組むことができた」の高評価が92%だった。これらの結果から「生徒主体の授業づくり」が進んでいると推測される。 次年度は、ICTや相互授業参観を活用しながら、生徒が主体的に授業に参加する工夫をより進めていく。 	

各教科の取組		※左欄の取組テーマの実践を通して各教科の資質・能力を育成する。			
教科	生徒が身に付ける資質・能力	中間評価	年度末評価	課題解決のための次年度の取組	
国語	社会生活の中で必要とされる国語の知識や情報選択能力を身に付け、表現されている内容を適切に理解し、思考を深めたり表現力を高めたりすることができるようにする。	4	4	概ね達成できたと思うが、引き続き、多くの知識や情報選択能力を得る機会を設けることに加え、その知識を定着させることができるよう工夫する。	
	社会生活の中で、他者の考えを理解したり、自分の考えを論理的に伝えたりする力を高めるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることで創造する力を伸ばす。	4	4	概ね達成できたと思うが、引き続き、他者の考えを理解し、自分の考えを伝えるという力の醸成を行っている。	
	言葉を通して考えたり伝え合ったりする姿勢を大切にするとともに、自分の言葉で目的や場面に応じた適切な表現ができ、また読書を通して言語文化の知識を豊かにしながら自身の国語の能力を向上させようとする社会の中で生きていくための知識や情報選択能力を身に付けるとともに、社会の一員として思考を深め、協働ができるようにする。	4	4	概ね達成できたと思うが、読書経験が少ない生徒が多いことが課題である。研究教養部・図書室と連携して、生きる力を育む読書力を身に付けさせる。	
地公	社会活動の中で他者の考えを尊重でき、かつ、自分の考えを深め、論理的に表現する力を伸ばす。	3.9	3.9	概ね達成できたと思うが、学習を通じた生徒の意識の変化を観点別評価にどのようにつなげるかが課題である。	
	社会活動の中で他者の考えを尊重でき、かつ、自分の考えを深め、論理的に表現する力を伸ばす。	3.8	3.9	概ね達成できたと思うが、グループワークの振り返りを強化し、教員が知識の定着と自ら表現できる力をきちんと公平に評価するかが課題である。	
	人間の社会的活動に関する基礎的な事項について自ら学び、社会の一員として課題に積極的、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	3.9	3.9	概ね達成できたと思うが、まだ生徒の意識が授業の中のことでとどまっており、生徒の興味、関心、意欲を高めることが課題である。	
数学	事象を数学化したり、数学的に解釈し、定理や公式を用いて数学的に処理することができる。	3.9	3.8	定理や公式の成り立ちを意図をうまいながら丁寧に説明し、なぜこの問題にはこの公式を用いるのか、例題を活用しながら理由付けの強調を図る。	
	数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に思考、表現する力を身に付けている。	3.8	3.7	今後も計画的に振り返りや小テストを実施し、問題文からの的確に数式を作成する過程を確認していく。	
	積極的に数学を活用しようとしたり、数学的な考えを深めようとする態度が身に付いている。	3.9	3.7	適切にグループワークの時間を確保し、生徒が主体的に取り組んで他者の考えや意見を取り入れ、かつ自分の意見を発表するような機会を作る。	
理科	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能	3.8	3.8	主体的に課題発見、仮説の設定ができるように、ワークシートの工夫を行うとともに、授業においてもその内容に触れるように工夫を行う	
	観察、実験などを行い、科学的に探究する力	3.8	3.8	課題発見から課題の解決に至る過程を学ぶワークシートの工夫を作成し、すべての教員が実践する。	
	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度と、科学に対する興味・関心	3.8	3.8	生徒自身の日常生活と授業の内容が関連付けられることでより興味関心を高められるようにPCなどを上手に利用し、教材の内容と提示の仕方をさらに工夫する。	
英語	英語の音声や語彙、表現などへの理解を深め、実際のコミュニケーションの場面で適切に英語を活用できる技能を身に付ける。	3.8	3.9	正しい発音ができるように、音声指導や音読活動の時間を増やす。ペアワーク等を通じて、生徒が授業内で英語を話す機会を増やす。	
	情報や考えなどの概要や要点などを的確に理解し、自らの考えをまとめ、目的や場面に応じた英語で表現したり、伝えあったりする力を養う。	3.8	3.8	英語で書かれた文章を正しく読み取る力を高めるため、語彙や文法事項の定着を図る。英作文のテーマを工夫し、生徒が自分の考えを英語で表現する機会を増やす。	
	英語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら主体的、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。	3.8	3.9	教科書の内容に対する生徒の興味・関心を高めるため、文化的背景に関する資料や写真を提示する機会を増やす。	
芸術	芸術に関する各科目の特質について理解し、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。	3.9	3.9	基礎的な知識・技能の習得を継続し、限られた時間の中で生徒が着実に作品制作や表現活動を進められる環境を維持する。	
	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができる。	4	4	昨年度に引き続き、鑑賞や表現の工夫をする。生徒が高い意欲を持って取り組めるよう適切な課題提示を行う。	
	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め、豊かな情操を培うことができる。	4	3.9	多くの生徒が肯定的な回答を示した「他者の話に耳を傾ける姿勢」を大切にし、表現の共有を促す。	
家庭	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	3.7	3.9	自立した生活者となるために必要な知識・技術の修得に向けて今後も丁寧な指導を継続していく。	
	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現する	3.6	3.9	生活課題を見つけ、学んだ知識・技術を元に改善に取り組み論理的にまとめ発表する学習を継続して行う。	
	学習した内容を元に自身の生活をより良いものにしようとする主体的に取り組んだり振り返って改善する。	3.6	3.9	自分自身の生活環境に関心を持ち改善し向上させようとする態度を今後も育成する。	
保体	健康・安全についての理解を深め、「走る・投げる・跳ぶ・とる・打つ・蹴る等」の基本的な動作技術を身に付けることができる。	4	4.1	概ね達成できた。さらに主体的に取り組む仲間と協力し基本の習得ができることが必要である。	
	各種目の特性を理解し、自身の課題を見つけ、動作や言語で表現することができる。	4	3.8	概ね達成できた。今後は個人の課題を明確にできるよう工夫していくことが必要だと考える。	
	スポーツにかかわることや、健康・安全について自ら学び、活動に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	4	4.1	概ね達成できた。主体的に行動できる場面の工夫を更にしていくことが必要だと考える。	
商業	ビジネスの様々な場面で役に立つビジネスに関する基礎的な知識と技術を、具体的な事例と関連づけて身に付けている。	4	4	各教科とも現実の経済社会で行われている実際のビジネスに関連させて、具体的な事例や課題について関心を持たせる工夫をする。	
	ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探求し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力身に付けている。	4	4	経済社会に深く関心を持たせ、ビジネスに関する課題について仮説、検証、結果など実践的な学習を通して、外部に発表する機会を多く設ける。	
	課題を解決する力、ビジネスの実務に対応する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	4	4	ビジネスに関する課題解決に向けて外部と連携を図り、計画的、他者と協働的に取り組む場面を取り入れていく。	
総探					